

第9回フットサルリボン慰問レポート

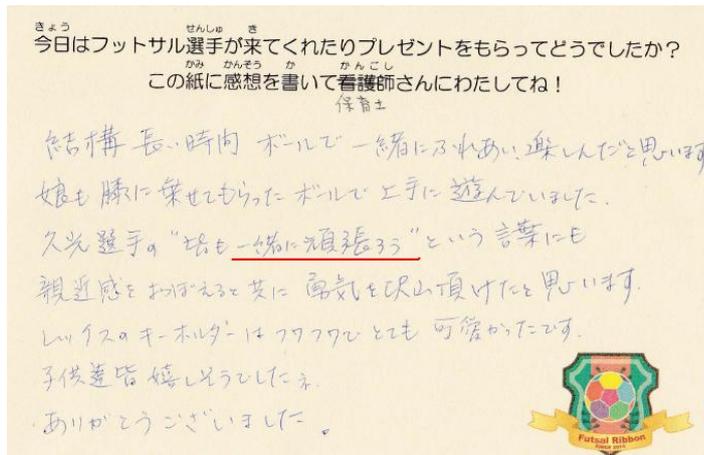
フットサルリボン

慰問担当 須藤 聖子

- ・日時:2014年11月19日
- ・場所:神奈川県内病院
- ・参加人数:入院患者とその家族、約60名
- ・参加年齢:1歳～17歳
- ・訪問者:湘南ベルマーレフットサルクラブ 久光重貴選手
レックス(着ぐるみ)
- ・協賛:株式会社ドリブルジャパン
第一資料印刷株式会社
株式会社アントレックス

「一緒にがんばろう！」

- ・目標を持って一緒にがんばろう。
- ・病気でも、選手を続けられるようにフットサルの練習をがんばっていく。
- ・僕も頑張るから、みんなもがんばろう。
- ・そしてがんばっている友達を、応援しよう。



久光選手とレックス

1. 子どもたちとの触れ合い

① 5階病棟にて子どもたちと、ボールを使ったアクティビティ

私達が5階に上がると、待ちきれないお子さんたちがみんな、プレールームに集まっていました。参加のお子さんは10名です。プレールームに半円状に一列に座り、フットサルボールを使ってボール遊びを始めました。



久光選手と子ども達

座ったままで、ボールをひとりひとつずつ持ち、つま先、かかと、右足左足と交互に足をボールの上に置き、ボールの感触を味わいました。次に、ボールひとつで、右端のお子さんから、左端のお子さんに子どもたちだけで、コロコロボール送りです。久光選手より、「隣の友達が、次の友達にパスを出しやすいように、相手を思いやる気持ちを持とう」と、アドバイスをもらい、乱れることなく、ボール送りをしました。年齢層が幅広い10人のお子さんでしたが、年長の男の子と女の子を中心に声かけをしながら、お子さん同士、何度もボール送りしていたのが、印象的でした。

ボール送りの次は、立って2人組で向き合い、ボールを真ん中に置き、久光選手の掛け声に合わせて、右足、左足、とボールの上に足を乗せます。「向き合っている友達と、協力してボールに足を乗せよう。一緒にがんばろう。友達とぶつからないよう足を乗せるにはどうしたらいいか、考えてみよう。」と、話しがありました。始めは、慣れないお子さんたちも、繰り返すごとに、笑顔に変わり、協力し合って、仲良くボールの上に足を乗せていました。

椅子席に戻り、応援していた、レックスの登場です。

座ったその場に立ち、レックスの股の下にボールを蹴り、ボールが入ったら、「レックス！」と叫びます。

小さな声だと、もう一度やり直しです。恥ずかしさから、声が出なかったお子さんもいましたが、がんばっていました。

アクティビティの最後は久光選手から、子どもたちがボールを奪えるか、競争です。

点滴をしながらですが、年長の男の子が「やりたい、やりたい。」と意欲を示して、医師の了解の元、挑戦です。

「普段、病棟では、大きな声を出せないと、思うけど、今日は大きな声を出して、みんなで10数えよう！」

10数える練習です。しかし、小さな声に、久光選手が「みんな声が小さいよ。これでは、お友達が頑張れないよ。

僕のことも応援してくれる人達が沢山いて、とても嬉しかった。だから今もがんばっている。みんなも友達を応援しよう」と言いました。

9人のお子さんがひとつになって、大きな声で、10数えることができました。

年長の男の子は、見事、10ぎりぎりまで久光選手からボールを奪うことができました。

みんなで拍手して、お友達をたたえました。



子どもと久光選手のボールの取り合い



久光選手からのメッセージ

みんなに久光選手からのメッセージです。

「好きなこと、やりたいことが見つかった時、好きな気持ちを持ち続けよう！あきらめずにチャレンジしよう」と、締めくくり最後にプレゼントの贈呈、集合写真で終了しました。

②病室訪問

次に病室訪問しました。アクティビティに参加できなかったお子さんの病室に個別に訪問し、お子さんと、付き添いのご家族を励ました。時にお子さんの手を握りしめたり、プレゼントのレックスのキーホルダーを枕元に置いたりしました。あるご家族の元では、久光選手も今、病気と闘っていることを話し、ご家族の思いに久光選手が寄り添うと、ご家族からは、

涙が溢れ、何度も何度もお辞儀をされていました。また、久光選手も、「病気に負けず、がんばってください。」とご家族に励まされるシーンもあり、ここにいるみんなが、勇気と希望を持って、病室訪問を終えたことは、間違いありません。移動中、レックスを気にしてくれた、低学年の女の子が、お母さんと一緒に私達の病室訪問の後をずっと付いてきて、止まるごとに、レックスに抱きついたり、写真を撮ったりしてくれました。

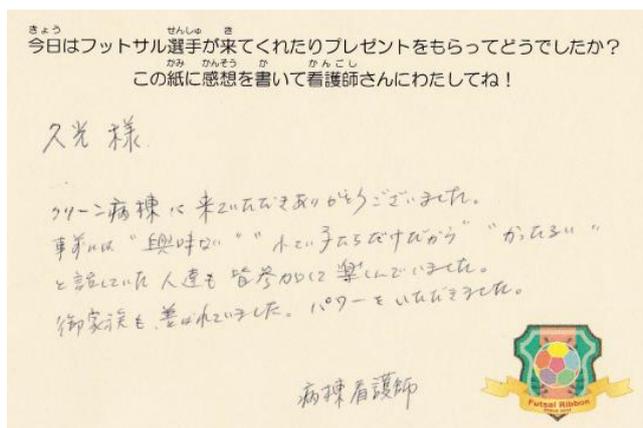
① クリーン病棟の子どもたちと、ボールを使ったアクティビティ

始めに参加してくれた子どもたちは6人でした。先ほどと同じく、プレールームにて、半円状に一行に椅子に座りました。幼児が多かったのですが、初めて久光選手と会ったとは思えないほど、みんな人見知りせず、沢山、久光選手に話し掛けてきます。アクティビティの説明をして、久光選手が「わかったかな」と聞くと、「はい」と手を上げるお子さんもいて、可愛いらしかったです。ボールを転がしたり、2人向き合い、ボールに右左足を乗せたりしました。

次に座っている場所に立って久光選手へボールを蹴ります。小さな女の子も、恥ずかしいのですが、あきらめず久光選手にボールを蹴ったり、転がしたりできました。

すると、はじめは、「面倒だから、イベントに行かない」言っていたと聞いた、15、16歳の男の子3人がプレールームの騒ぎが気になり、プレールームまで見に来てくれました。2人のお子さんは点滴をしていましたが、「中に入って、一緒にサッカーしよう」と声をかけましたが、遠慮して、でも、サッカーボールを渡すと、廊下でボールを転がしたりしてくれました。嬉しかったです。

また、車椅子のお子さんは、サッカーが好きだそうで、車椅子の足掛けのところで、上手にボールさばきをしていました。



プレールームの中では、お子さんが久光選手からボールを奪えるか、挑戦です。「みんな10数えられるかな?」という問いかけに4歳くらいの男の子が「うん、だって僕、100まで数えられるもん」と大きな声で手を上げてくれました。

代表で小学生の男の子が挑戦です。みんな大きな声で10数えます。でも、まだボールは奪えません。お子さん達は、また10数えます。男の子もあきらめず最後までチャレンジして、ボールを奪うことができました。

最後に久光選手よりお子さん達へメッセージです。

「なんでも、やめることは簡単にいつだってやめられる。がんばるか、がんばらないかは、自分次第だから、みんなあきらめずにチャレンジしよう」と話しがありました。

プレゼントの贈呈、記念撮影で終了しました。



プレールームにて



久光選手によるプレゼント贈呈

② 病室訪問

プレールームに移動ができなかった子どもたちの病室を久光選手ひとりで訪問しました。

色紙や自前のホルダーや洋服などに、久光選手がサインをしたり、握手、記念撮影、プレゼントの贈呈をしました。

病棟にレックスは入れませんでした、プレゼントのキーホルダーを「可愛い」と言ってくださり、すぐにベッドサイドに飾ってくれました。また、ぬいぐるみが好きなお子さんの病室には、レックスと似たようなぬいぐるみがあり、「仲間ができたね」と、ご家族も喜んでいました。

2.子ども達の感想カード

<p>きょう せんしゅ せんしゅ 今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？ この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！ 仔もま</p> <p>久光選手へ</p> <p>この前は、5西病棟に来て下さりありがとうございました。 久光選手が来た時、わたしは喜んで、手あせがすごかったです。でも久光選手に会えてとてもうれしかったです。良い茶室馬車になって良かったです。 そして、これからわたしは、ちりょうをかかんはります。久光選手もがんばってください。</p> 	<p>きょう せんしゅ せんしゅ 今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？ この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！ 仔もま</p> <p>ちりょうが、ちがったけどサッカーできてよかったです。</p> 
<p>きょう せんしゅ せんしゅ 今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？ この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！</p> <p>フットサルを見て、とてもおもしろかった。ごち(お)ストラップもすごくかわいくてうれしかったです(お)</p> 	<p>きょう せんしゅ せんしゅ 今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？ この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！</p> <p>すいようび、ありがとうございます</p> 
<p>きょう せんしゅ せんしゅ 今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？ この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！</p> <p>すいようび、ありがとうございます</p> 	<p>きょう せんしゅ せんしゅ 今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？ この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！</p> <p>みつせいの、ありがとうございます。また、おたのしかたです。</p> 

3. 保護者の感想カード

きょう せんしゅ
今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？
この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！

プレゼントがうれしかったです。ボールもそびも楽しかったです。

久光選手に会えてとても勇気もらいました。心から感謝しています。サッカーフットサルを続けるのは大変だと思います。早く病気に負けないでほしいです。試合をみにいきたいと思います。本当に今日はきていたってありがとうございます。リストバンドも大切にしています。ながめてほしい。子供ながら何かを感じたんだと思います。いつもお世話です。



きょう せんしゅ
今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？
この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！

すてきにしてくれてありがとうございます。ご自身も大変な中にも子供達のためにありがとうございます。ご挨拶、大変ごちがいがんばって下さい。応援しています。キーンとめいごさみとも気に入りよく持ってます散歩します。ありがとうございます。



きょう せんしゅ
今日はフットサル選手が来てくれたりプレゼントをもらってどうでしたか？
この紙に感想を書いて看護師さんにわたしてね！

訪問の際はユニフォームにサインを頂いてありがとうございました。お兄ちゃんが入院して1年半が過ぎ、自身も兄が病気でいうことを誰にも言えず、またもう学校から帰ってきては大きなサッカー入行の事が心のほけみになっていきます。もちろんバリエーレのスクールに通い、今季バリエーレの11月も大きな喜びの1つでした。久光選手のことを知った時は、自分の母である兄の病気とサッカーが結びつきとても興味をもちとして深く考えていました。私たちが保護者も子供達の病気が治ると信じていますし、もちろん久光選手が病気が治り選手として続けて、人々に夢を与え続けられると信じています。この交流を期にフットサルリーグの応援をさせていただきます。



おわりに

今回の慰問に関しましては病院側と患者様のご家族のご理解とご協力のもと、久光選手の密着取材でNHKが収録に同行しました。放送日程が決まりましたら、お知らせできればと、思っております。ご協力いただきました、関係各位様に感謝します。